

第11次厚木市総合計画重点プロジェクトの再構成（案）に対する
厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議からの意見等

重点プロジェクトの再構成（案）	
委員からの意見等	事務局の考え方
戦略2の数値目標について、0～4歳人口割合から0～14歳人口割合に変更した意図は。	若い世代を含め子育て世代に本市に転入・定住してもらうことから、その世代のこどもの年代として、年齢を見直した。また、子育て支援、学校教育の取組のターゲットとなる年齢層でもある。
戦略2の主な取組等から結婚支援を削除された理由は。	これまで結婚支援に取り組んできたが、成果が測りづらいことが課題であった。結婚の希望を叶えるのも必要だが、戦略2は出産・子育てに絞った。
戦略3の主な取組等から生涯学習を削除しているが、就労支援に特化したのか。	国から幅広い分野で考え方が示されたが、重点プロジェクトとしては、幅広いままでは、重点が明確にならないため、就労支援のみとし、①産業に位置付けた。 当初、戦略3の重点施策③にはこのほか生涯学習や健康づくりを位置付けていたが、総合計画の施策の一つとして取組を進めることとし、重点施策から外した。
重点プロジェクトの再構成（案）を総合計画の中に入れ込み、それぞれにKPIを設定し、まとめ上げていくのか。	KPIについては、それぞれの重点施策の進捗を図るための指標で、別冊で策定するアクションプランに位置付ける。
当初、戦略1は社会増減、戦略2は自然増減としていて、分かりやすく対比できたものが、数値目標を0～14歳人口とすると転入・転出も要素として入ってくるので少し分かりづらくなる懸念がある。国の基本構想を踏まえた変更か。	国の基本構想によるものではなく、これまでの本市の取組と今後10年の取組を踏まえて、戦略1は定住促進の施策、戦略2は子育て教育環境で選ばれるまちとして、目指したいまちの実現に向けた目標として設定している。

第2期総合戦略では、公表が年度をまたぐ数値目標があった。今回の重点プロジェクトに設定する数値目標は毎年度把握できるものなのか。	合計特殊出生率は公表が2年後となるため、第2期総合戦略から毎年把握できる出生数を位置付けた経緯がある。今回設定する0～14歳人口は、神奈川県年齢別人口統計調査の結果であり、毎年把握することができる。 事業所数と従業者数は経済センサスの結果を用いており、5年に一度の把握になるため、毎年把握できる法人均等割納税義務者数を設定している。 なお、重点プロジェクトの進捗については、毎年度KPIにより評価していき、数値目標については、計画の中間年である令和12年度と最終年度の令和17年度に評価する際の指標としているため、経済センサスの結果については、数値目標を評価する時期と合致する。
主な取組等にあった生涯学習は、単に外されてしまったのか、あるいは、別の取組に含まれているのか。	国の基本構想を踏まえて、重点的に取り組むものを再検討した。 総合計画としては全分野網羅しており、生涯学習と社会教育についてもそれぞれ施策に位置付けている。
数値目標について、人数の積み上げではなく、減少幅を抑える割合の方が分かりやすいのでは。 また、戦略2の主な取組が少なく感じるが、三つの戦略の中でより重点を置いているものはあるのか。	数値目標は今後も検討していくが、戦略1は実際にどれだけの人が転入・転出したのか、実人数により把握していきたいと考えている。戦略2については、今後減少が見込まれているので、割合で見していきたい。 また、戦略2については、子育て・教育に関する取組のみを位置付けているため、この表では少なく見えてしまうが、三つの戦略の位置付けは同列である。

参考資料２の表に数値目標の具体的な値が記載されていると分かりやすいのでは。	参考資料２は、重点プロジェクトにどのような施策・取組を位置付けるか御意見をいただくために作成したもので、長期ビジョン原案には、現状値、中間年度の目標値、最終年度の目標値を記載する。 なお、KPIについては、アクションプランに毎年の目標値を設定する。
再構成（案）は、より分かりやすくなったと感じる。これまでは戦略３に環境対策があったが、今回は戦略１に自然環境として位置付けられ、住みたいまちに合致している。	これまで、戦略３に環境対策を位置付けていたのは、企業の環境対策の視点であったが、自然環境は本市の魅力として市民参加でも意見の多かった分野であるため、明確に位置付けることで定住促進につなげていきたい。
少子化対策の施策が多いが、高齢者にターゲットを絞ったものも面白いのでは。高齢者に対して優しいまちづくりという観点を入れてもよいのではないか。	重点プロジェクトに地域包括ケア社会の実現やコンパクト・プラス・ネットワークの推進も入れ、福祉の観点からも再構築している。
人口減少の中、活気を維持していく中では健康づくりも重要ではないか。 重点プロジェクトに位置付けても良いのでは。	再構成（案）は、国の基本構想を参考にしつつ、重点プロジェクトとなるよう施策を絞り込んだ。 これまでの人口減少対策を中心としたものから、再構成（案）のとおり幅広くしていく方向性が承認を得られれば、今後、総合計画審議会や庁内組織で御意見を踏まえた検討を進めていく。
本計画をどのように市民へ伝えるのが重要だと思う。一目見て分かる一覧表のようなものがあったら良いと思う。	冊子の概要版や一覧表などで分かりやすくなるよう検討する。

重点プロジェクトを再検討した内容で今後検討を進めていく方向で承認